

みなさんこんにちは！ 新任医師の紹介をします



ありに 祐子
興 裕 雅代
33才

【担当科】麻酔科
【出身大学】佐賀大学
【趣味・特技】基本教練、射撃（拳銃）
【自己PR】
高校卒業後からずっと佐賀にいましたが、このたび15年ぶりに宮崎に戻ってきました。地元宮崎の医療に少しでも貢献できるような頑張ります。よろしくお願ひします。



おbita 敏
あした 敏
53才

【担当科】消化器科
【出身大学】帝京大学
【趣味・特技】スポーツ観戦
【自己PR】
「できる事を確実に実行」をモットーに診療に臨みます。



たまき 洋太
あした 洋太
34才

【担当科】脳神経外科
【出身大学】防衛医科大学校
【趣味・特技】基本教練、射撃（拳銃）
【自己PR】
元海上自衛隊佐世保給養部医務官です。脳神経外科と前置医学を専門としております。今までの経験訓練は空挺団落下傘降下、射撃、野戦、カッター競技、戦闘後援訓練、潜水です。拳銃射撃のコツ教えます。



はら 哲誠
あした 哲誠
29才

【担当科】整形外科
【出身大学】久留米大学
【趣味・特技】ウイキボード、ゴルフ
【自己PR】
ウイキボードに興味があるかたは是非お声がけください。

患者の皆様への権利に関する宣言

当院では、患者の皆様への尊重や人間性が尊重され、パートナーシップを強化し、以下の権利が守られることを宣言します。

1. 真実の医療を受ける権利
患者の皆様は、差別されることなく適切な医療を受ける権利を有します。
2. 選択の自由の権利
患者の皆様は、医師や病院はいは保健サービス施設を自由に選択し、変更することができます。また、いかなる段階においても別の医師の意見を求める権利を有します。
3. 自己決定権
患者の皆様は、自分自身に関する自由な決定を行う権利を有し、それに必要な情報を得る権利を有します。
4. 意図に反する処置
患者の皆様は、医療上の自己の意思に反する処置は行われず、原則的に行いません。
5. 情報に関する権利
患者の皆様は、医療上の自己の情報を得る権利を有します。また、知られずにおく権利と自分に代わって自己の情報の提供を受ける人を選択する権利を有します。
6. 守秘に関する権利
診療の過程で得られた患者の皆様への個人情報は、全て保護されます。
7. 尊厳を得る権利
患者の皆様は、いかなる状態にあっても人格的に扱われ、尊敬をもってその生を全うする権利を有します。

潤和会記念病院 院長 岩村 威志

記念病院 理念 「人間愛」

一 記念病院 基本方針 一

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療の提供
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を实践
3. チーム医療を推進し、より良い医療の希求
4. 豊かな人間性を備えた医療人の育成
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境

あしがき

熊本地震から二か月半が過ぎました。宮崎でも何回も揺れを感じ、不安な思いを抱いた方も多かったと思います。また、家族や親戚、友人が被災したという方もいらっしゃると思います。私自身、大学時代に熊本の友人やお世話になった方が熊本にいたため、地震速報を見るたびに、不安で心配な気持ちになり、大きく揺れしたり、愛わり果てた姿になったりしている映像を見て、とても悲しくなりました。大好きな熊本のために何かにたいひ、何もできずにもやもやした気持ちでテレビの前には、何もできません。少しづつ普通の生活に戻りつつありますが、家に住めなくなったり、不安やトラウマで眠れない方が、まだまだたくさんおられると思います。一刻も早く安心して生活できる日常が戻ってくることを祈るばかりです。

宮崎も、いつ大地震が起きてもおかしくないと、言われています。今回の地震を機に、我が家の災害用グッズを見直しました。非常食用に、バック詰めの白米や、腹持ちが良さそうなビスケットを購入していたのですが、すべて賞味期限が切れていました。病院の非常食で、賞味期限が長く、水で炊けるアルファ米というお米があることを思い出して、家庭向けのアルファ米を探して購入しました。ジップアップは最低三日分は用意したいというくらい、いいとよく聞きますが、家族全員分となると量が多く、置き場所もないので、まだ二日分も買えていません。日用品となる、さまざまな置き場所に困ります。アタピーを購入しましたが、なんと置き場所を作っても他に色々と買い揃えたいなと思っしています。

今回のような大災害が身近なところで起こると、いかに備えて安心できるかが、いかに大切だと思ひます。皆さんの家ではどのような災害の備えをしていますか。

潤

うるおい

No. **65**

2016年 8月1日発行

TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558
http://www.junwakai.com

病院長就任のご挨拶

潤和会記念病院 院長 岩村 威志



2016年4月1日より病院長を務めさせていただくことになりました。略歴を述べますと出身は宮崎県児湯郡高鍋町で、高鍋高校卒業、鹿児島大学卒業後は直ちに進学3年目の宮崎医科大学（現宮崎大学）・第一外科に入局しました。大学在局中は外科の臨床やがん研究に一直して携わり米国ネブラスカ州立大学エプリアン研究所では癌の研究に没頭しました。その後2004年の10月に宮崎大学医学部第一外科助教を辞して潤和会記念病院に入職しています。入職後一年の2005年9月の台風14号による大水害による病院水没も経験し、この難局もすべてのスタッフが丸くなり乗り切ることが出来ました。医療を取りまく環境は厳しさを増しておりますが私が常々医療に対して考えていることを総論的に述べて就任の挨拶とさせていただきます。

我々の組織は病院である以上よい医療を提供するのが目的であり目標です。よい医療を提供するには何が重要かと考える時、私は「心、技術、そして環境」の3つが重要であると考えます。心のない医療、技術のない医療では患者さんはもちろんのこと医療従事者自身も満足できないと思います。そして心とよりよい技術を提供できる環境整備も大事であると思っています。

まづもって医療を提供するのに最も大切なことは「心」であろうと考えます。これは呉屋名菅院長が掲げられた病院の理念「人間愛」そのものであり、これを自分なりに解釈すると、常にすべての患者さんに対して自分の親・兄弟・子供など家族への思いで接することであろうと思ひます。しかしながら親や子供たちでさえいつも自分の思う通りには参りません。ましてや最善を尽くして良かれと思っで行う医療行為でさえ必ずしも患者さんの思いと一致しないことがあります。このような場合は、私は外科医である前に家族の気持ちで話し合えばお互い納得の出来る治療方針が導き出せるのではないかと考えています。すなわちお互い信頼しあえるような状況が作り出せれば心の通った医療が行える、これこそが望まれる医療のあり方ではないかと考えています。

技術とは、例えば、外科でいえば確かな診断に基づく手術や周術期管理であり、内科的技術とは的確な検査に基づく診断や薬物療法であろう、そしてこれらの技術は現時点での医療レベルにおいて少なくとも標準以上でなくては行けない、看護師であれば患者さん起こった小さな変化を見逃さない、事務であれば医療の方向性を医療職に示し、保険診療を適切に算定すること、などであろうと考えています。これらの技術の向上のためにそれぞれが学会や教育セミナーなどに必要に応じて参加・研鑽し最新の医療レベルを学ぶ必要があるとしてそれを患者さんに提供しなければならぬと考えています。

そして環境です。環境には人の環境と物の環境があると考えています。人の環境とはすべてのスタッフがお互い信頼しあひ、緊張感をもって、安心して医療行為を行える環境であり、患者さんにおいては安心して医療を受けられる環境であろうと考えます。昨今医師・看護師・薬剤師においては大都市への偏在が問題となっており、より良い人の環境を実現するためにより良い医療従事者をこの宮崎の潤和会記念病院に確保することも重要であると考えています。物の環境とは端的に言えば整理整頓・環境美化で、日々のこまめな注意が必要です。これら人と物の環境が整うことは引いては医療安全にも通じることと思ひます。

最後に私の院長としての務めは潤和会記念病院に勤務するすべてのスタッフが一つのチームとして、我々の潤和会記念病院を受診される患者さんとその家族の皆さんに謙虚で誇りを持って接し、最新の医療技術、人間愛、そしてこれらを提供できる環境をすべてのスタッフとともに整えることであると信じています。これらのことが実践できていく限りはたとえ目まぐるしく医療制度が変わっていったとしても患者さんと共に歩む潤和会記念病院は発展しつつ存続可能であると考えています。

緩和ケア科 診療実績と今後の課題

緩和ケア科 田中 信彦

当院の緩和ケア病棟は、がん終末期の患者さんに対して、当院の基本理念である“人間愛”を感じ取っていただける場所にしたい、人が自分らしく生き抜ける病棟にしたいという概念のもと、現院長の岩村威志が中心となり準備が進められ、2014年3月に開設（24床）されました。2015年11月1日現在、宮崎県における緩和ケア病棟入院料の届出受理施設は5施設で、病床数は100床となっています。宮崎県の緩和ケア病棟の約4分の1を当院が担っていることとなります。

病床稼働率は、開設後より徐々に上昇し、2015年度の平均病床稼働率は85.1%となりました（表1）。緩和ケア病棟のニーズの高さを実感するとともに、質の高い緩和医療を提供しなければならないという責任感を感じています。

2015年度の集計結果をみると、疾患別では胃癌患者が最も多く、肺癌、肺癌の順に患者が多いことがわかります（表2）。紹介元病院では、県立宮崎病院（37名）、宮崎大学医学部附属病院（21名）が圧倒的に多く、がん診療連携拠点病院との連携体制ができています。その一方で、国が推進している在宅医療を支援するためには、在宅療養支援診療所やその他の診療所との連携が今後の課題と思われます。

2015年10月1日、当院は日本緩和医療学会の研修施設として認定されました。現在、専門医取得を目指す院外医師1名の研修を受け入れています。今後は、緩和ケアの研修の場として、医師だけでなく認定資格の取得を目指す看護師や薬剤師、緩和ケアに興味のある学生などを広く受け入れていきたいと考えています。

今年度から来年度にかけて日本ホスピス緩和ケア協会による緩和ケア病棟の認証制度が始まります。この認証制度は、緩和ケア病棟の質向上の取り組みを評価し認証するものです。今年11月に申請を行い、来年4月ごろに認証結果が通知されることになっています。当院も最高評価「AAA」の認証を受けるために、「自施設評価共有プログラム」、すなわち多職種で自施設の評価を行い、問題点を見つけて改善するためのプログラムを実施し、結果を協会に報告する予定です。また現在、遺族による評価（J-HOPE）も進行中で、着々と申請のための準備を整えています。

災害に備えていますか？

潤和会記念病院 糖尿病看護認定看護師 山下加代子

このたびの平成28年熊本地震にて被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興を心から祈り申し上げます。

【はじめに】地震や台風、洪水などの自然災害は、いつでもどこでも起きる可能性があります。そのような災害が発生した時に、役に立つのが日頃の備えです。普段から主治医や家族と話し合い、非常時を無事に乗り切れるように準備しておきましょう。

【災害への備え】非常時の持ち出し品をそろえて持ちやすいリュックなどに入れておきましょう。

1. 自分の情報をまとめておく
 - 氏名、生年月日、住所、電話番号、緊急連絡先、緊急避難場所、疾患名、お薬手帳のコピー
2. 非常用持ち出し袋に入れておくもの

懐中電灯、電池	携帯ラジオ	軍手・手袋	飲料水（3日分）	食料（3日分）
着替え	室内履き	ウエットティッシュ	ビニール袋	メモ、筆記用具
紙コップ、紙皿	保険証コピー	洗面用具、タオル	カイロ	レジャーシート
貴重品	携帯充電器	トイレトペーパー	生理用品	現金、小銭

3. 糖尿病患者さんが非常時の持ち出し用に準備しておくもの
 - 飲み薬やインスリン：飲み薬約1週間分とインスリン各1本と注射針、低血糖用のブドウ糖
 - お薬手帳：最新の手帳のコピー（処方箋やお薬手帳を携帯電話で写真にとっておいても可）

【避難所生活での注意点】

1. 水分をしっかり取る：飲料水の不足や、トイレを我慢するために飲水を控えることは、脱水になりやすくなります。脱水を機に脳梗塞や心筋梗塞などの重篤な病気を発症しやすくなります。
2. 食事：おにぎりや菓子パン、カップ麺など炭水化物中心の食事による急激な血糖上昇を防ぐため、ゆっくりよく噛んで食べる、水分をよくとるなどの工夫が必要です。また摂取カロリー、栄養素、塩分のバランスも壊れがちになります。カップ麺などの汁は残しましょう。
3. 感染症予防：手洗い、うがい、歯磨き、義歯洗浄などを心がけ、マスクがあれば使用しましょう。
4. 軽い運動や体操をする：車中泊などで長時間同じ姿勢を続けることで下肢の血流が悪くなり、血栓が肺の血管に飛んで詰まるエコノミークラス症候群が発症します。下肢の屈伸運動やつま先や足首の運動は意識して行いましょう。
5. 治療を中断しない：1型糖尿病患者さんでは、インスリン注射を中断すると、高血糖から命にかかわるケトアシドーシスという重篤な状態に陥ります。必ずインスリンは持ち出しましょう。

熊本地震では、私たちの住む宮崎市も当初は幾度となく余震が繰り返し、「もっと大きな揺れが来たらどうしよう…」と不安な日々を過ごしました。私は、5月8日に益城町総合体育館に糖尿病療養支援ボランティアに行かせていただきました。被災後3週間たち、避難生活の疲れと、体調への不安を訴えられる方々が多く、避難所での心身の健康へのサポートの必要性を強く感じました。災害はいつ起きるかわかりません。「自分の身は自分で守る」という意識を持ち日ごろから準備しておきましょう。

表1. 病床稼働率

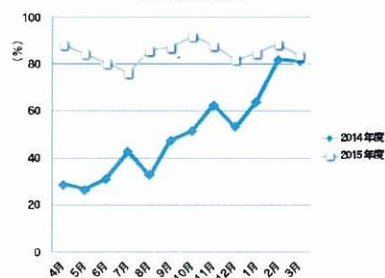


表2. 2015年度 疾患別患者数

